



アイヌ語で
「広場」の意味

アイヌ語ネコンネコン

「口笛」って何て言うの？

さっぽろし みなみつきさむしょう ねん かめおかそうすけ
札幌市・南月寒小5年 亀岡奏佑さん



たきぐち きょう だいい くちぶえ
瀧口：今日のお題は「口笛」

です。北原さん、ふける？



きたはら きたはら
北原：ヒューヒュー♪

たきぐち とうかち
瀧口：うまいねえ。十勝の
アイヌ語では「口笛」のこ

とをマウソロと言います。

きたはら わじん ぶん か よる くちぶえ
北原：和人の文化でも、夜に口笛をふくとヘビが出るとか、ゆうれいが出るという言い伝えがあるよね？ アイヌ民族も、夜に口笛をふくとしかられたんだって。「オコッコ エク ナ！（お化け・が来る・ぞ）」って。

たきぐち いえ まち がみ
瀧口：チセコロカムイ（家の守り神）がおこるから、という理由もある。やっぱりみんな、夜に口笛を聞くと不安になったりするんだね。

きたはら ひる ま くちぶえ
北原：昼間なら口笛をふいてもいいんだよね。

たきぐち とかち ち ほう くちぶえ
瀧口：そうだね。十勝地方には、口笛をふけば風がふく、という言い伝えがある。マメやヒエなどの穀物のからや、トウモロコシのヒゲなどを飛ばすときは風がふいてほしいので、子どもは「そこに立って口笛をふけ」って言われたんだって。

きたはら てつだ おびひろ
北原：もしろいお手伝いだね。帯広でハンターをしていたエカシ（おじいさん）の話を教えてあげる。キツネやリスなど動物が寝ているときは毛が立っているの、実際よりも大きく見えるんだ。そのままだとねらいを外してしまうことがあるので、口笛をふいたり声を出したりして、獲物を起こすんだって。すると毛がねるから、体に当たりやすくなる。

たきぐち
瀧口：おお～、かっこいいね！



だいじ 題・イラスト おがさわら さ よ
小笠原小夜

このコーナーでしょうか
いしたアイヌ語の発音は
「まなぶんデジタル」の
専用ページ＝
QRコード＝
で聞くことができます



「〇〇ってアイヌ語で何ていうの？」。小学生から寄せられた質問に、アイヌ民族の2人があーだこーだいうコーナーです。考えた言葉は公式でもなんでもなく、結論もとくに出しません。ネコンはアイヌ語で「どう（言うの?）」という意味です。

きたはら
北原モコットウナシ 1976年、東京都生まれ。ルーツは樺太（サハリン）。北海道大学教授。むかしのアイヌ民族の暮らし、特に音楽、文学、宗教のことを調べている

たなからゆめ
瀧口夕美 1971年、釧路市生まれ。阿寒湖畔のアイヌコタンで育ち、幼少期からアイヌのおどりを習う。現在は京都市在住で、集グループSUREという出版社の代表